

食品中の放射性物質に関わる行政の調査結果及び関連情報
(10月22日に公表された情報)

1. 行政による放射性物質検査

福島第一原発事故が発生して以降、行政による検査が継続的におこなわれています10月22日に公表された結果によると、881件(福島県は21件)の検査がおこなわれていました。基準を超えたものは野生のきのこ(静岡県、山梨県、群馬県)8件でした。山は除染などの対策がとられていないことから、この時期に限って野生のきのこから基準を超える放射性物質が検出されることがありますが、その地域については出荷制限措置が取られている地域のため、市中に出回ることはほとんどありません。(厚生労働省のホームページから報告されている放射性物質検査の結果の概略から)。以下特徴についてまとめています。

(1)検査について基準を超えたものについて

- ①山梨県で採取された野生のきのこについて基準値を超える放射性セシウムが検出された旨公表されました。
 - ア. 山梨県富士吉田市:ハナイグチ(110 ベクレル/キログラム)、アマタケ(120 ベクレル/キログラム)
 - イ. 山梨県鳴沢村:ショウゲンジ(150,180 ベクレル/キログラム)、ハナアミイグチ(140 ベクレル/キログラム)
 山梨県の上記地域では、国の出荷制限指示または県の出荷自粛を要請しているため市中には出回っていません。
- ②静岡県で採取された野生のきのこについて基準値を超える放射性セシウムが検出された旨公表されました。
 - ア. 静岡県御殿場市:シロヌメリイグチ(170 ベクレル/キログラム)
 - イ. 静岡県小山町:キノボリイグチ(130 ベクレル/キログラム)
- ③群馬県で採取された野生のきのこについて基準値を超える放射性セシウムが検出された旨公表されました。
 - ア. 群馬県:ウラベニホテイシメジ(510 ベクレル/キログラム)
 群馬県のどこ地域で採取されたものは不明でした。

2. 検査結果について

(1)検査結果の概要

表1. 福島県で採取された沿岸魚の検査結果の傾向(2013年3月26日の検査結果とここ最近の検査結果の比較)

検査結果判明日	検出限界以下となった割合	基準は超えていないが、何らかの数値が検出された割合	基準を超えた割合
2013年3月26日	52.6%	41.4%	5.9%
2019年10月25日	100%	0.0%	0.0%
2019年11月 1日	100%	0.0%	0.0%
2019年11月15日	100%	0.0%	0.0%
2019年11月22日	100%	0.0%	0.0%
2019年12月 6日	100%	0.0%	0.0%
2020年 1月10日	100%	0.0%	0.0%
2020年 1月31日	100%	0.0%	0.0%
2020年 2月10日	100%	0.0%	0.0%
2020年 2月21日	100%	0.0%	0.0%
2020年 2月27日	100%	0.0%	0.0%
2020年 4月13日	100%	0.0%	0.0%
2020年 4月27日	100%	0.0%	0.0%
2020年 6月12日	99.5%	0.5%	0.0%
2020年 7月14日	100%	0.0%	0.0%
2020年 9月10日	100%	0.0%	0.0%
2020年10月13日	99.6%	0.4%	0.0%

3. 関連情報

特にありませんでした。

以上